

● 目次

- 2 ひと人ヒト (達綾哉 君)
- 3 能登半島地震
～あれから3年 忘れていませんか?
日ごろの防災意識!～
- 6 人間・長谷川等伯
- 8 地デジ化
- 10 と～くあばうと/市長談話室/
ななこちゃんのエコ生活
- 12 市民相談/B & G全国表彰
- 14 情報ランド (お知らせ)
- 18 まちの顔
- 20 伸ばせ!七尾っ子プロジェクト/
児童館へ行こう
- 21 イベント情報
- 22 休日医療情報/不用品活用銀行
- 23 みんなの本棚/有料広告募集
- 24 平成22年度能登演劇堂公演紹介
/わが家のアイドル

今月の表紙

節分の夜にその年の恵方に向かって目を閉じて一言もしゃべらず、願い事を思い浮かべながら太巻きを丸かじりするのが習わしとされている。ただし「目を閉じて一言もしゃべらず食べ続ける」部分の由来は定かではなく、この部分を省略する場合もある。商売繁盛や無病息災を願って、七福神にちなみ、かんぴょう、キュウリ、シイタケ、だし巻、うなぎ、でんぶなどの7種類の具を入れることで、福を巻き込む意味があるとする説がある。

七尾サンライフプラザで行われた恵方巻きづくりでは、地域の子どもたちが自分のオリジナル恵方巻きを作り、仲良く並んで一人ひとり願い事しながら食べていた。

(19ページに関連記事)

ひと

ヒト



石崎町出身

達綾哉 君 (15歳)

七目指せ横綱!
七尾から角界入り

「けいこをして3年で十両に上がり、将来は横綱になりたい」と力強く話すのは、石崎町出身で金沢市西南部中学3年の達綾哉君。大相撲の高田川部屋(親方・元関脇安芸乃島)への入門が決まり、2月5日に七尾市役所を訪れた。武元市長は「久しぶりに地元から力士が出るのはうれしい。大先輩の輪島や栃乃洋を目指して、がんばってほしい」と激励の言葉を贈った。

石崎小時代から横綱を夢みていた達君。さらに上を目指そうと地元を離れ、強豪の西南部中へと進んだ。中学入学時にはすでに身長183センチ、体重108キロ。恵まれた体格と持ち前の努力を重ね、1年生から活躍。昨年夏の全国都道府県中学生相撲大会では団体、個人の2冠に輝いた。

現在、身長193センチ、体重145キロと大きく成長した達君に強さの秘訣を尋ねると、「しこやすり足などの基礎を重点的にやっている」と、日頃からの地道な努力を感じさせる言葉が返ってきた。同席した五百崎剛・西南部中相撲部監督は「大相撲でもこれだけの身長がある力士は少ない。目標は高いが、どんどんけいこをして、早く上がってほしい」と話した。

今後の予定は、3月の新弟子検査を経て正式に入門。春場所では前相撲を取り、5月場所で序ノ口として土俵に上がる。

「練習が厳しいから高田川部屋を選んだ」と淡々と話す、その瞳からは横綱という大きな目標に挑む意気込みが感じられた。みんなの期待を一身に背負い、新たな世界へと挑戦する達君に、ふるさと七尾から大きなエールを送りたい。

能登半島地震

あれから3年…

忘れていませんか？

日ごろの防災意識！

平成19年3月25日午前9時42分ごろ、能登半島沖の深さ11^{キロ}を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生。七尾市、輪島市、穴水町で震度6強を観測。県内では死亡1人、重軽傷338人、住宅の全壊686棟、半壊1,740棟、一部損壊26,947棟、非住宅4,477棟に被害が出た。道路は、崩落・決壊などで最大18路線、24力所が通行止め、能登の大動脈である能登有料道路では15力所が崩落・決壊。また、地震発生直後は、安否確認などで電話が集中し、固定電話も携帯電話も一時かかりにくい状態に加え、電や断水など、能登半島全体がパニック状態となった。

あれからもう3年の月日が経とうとしている。今現在、皆さんの頭の中には災害に備える意識は常にありますか？